

小坂井 実 議員



## 三ツ又池公園を桜ドームでPRしてはどうか

問

概算で維持管理費が1、

500万円と答弁が(以前の議会で)された、三ツ又池公園【関連記事15面・緑】の管理運営について聞く。

十四山地区を流れる排水河川「玉川」の遊水池「三ツ又池」周辺(子宝地内ほか、十四山総合福祉センター西隣)を、6、20年度に約28億円が整備を行った。

増水時に遊水池となる防災機能、水郷公園としての機能を併せ持ち、池を除く面積は約6.7ha。4月27日に県から譲与され、同29日にオープンした。

(1) 三ツ又池管理協議会【緑】が管理すると聞いているが、どんなメンバーか。

三ツ又池地区の防災・管理機能の保全を図るための組織。事務局は市役所。主に敷地内の清掃や草刈等の管理業務を行っている。

(2) 愛西市から(同協議会)に出ている予算

(3) (同公園に生える)雑草は多年草で、根から抜かな

ければいくら刈っても枯れない。

護岸の下も土で、コンクリートを埋めない限りヨシは必ず生えてくる。使い勝手がよく、管理しやすく改造する余地はあるか。

(4) 同公園はPR不足ではないか。海南こども園の出口に、(案内)看板をつくってはどうか。

同公園の1つの目玉として、桜ドーム【緑】で日本のどこよりも最初に花を咲かせてはどうか。

16年まで行われたイベントで、旧十四山村商工会が主催。桜をドーム状のビニールで囲んで加温し、3月上旬に開花させていた。

## 復活の考えはない

答 農政課長

(1) 17年に設立し、市、愛西市、海部土地改良区、孫宝排水土地改良区等で構成している。

(2) (宝川の広域的遊水池となる)防災機能分として約13%の負担金、ことしは約195万円を予算計上している。

(3) (施設整備をした県と、原形が変わるものはその都度協議する契約を締結している。自然を大切にす

環境的な役割も含め、今後検討していきたい。

答 市長

(4) 秋の健康づくりフェスティバルは、同公園もからめ

たいイベントにしていきたい。また教育関係者にも、学校行事も含めた利用方法を考えてほしい。

現状としては桜ドームの復活は考えの中ではない。



▶三ツ又池公園開園式に参加した小学生ら